



重仮設

15年度上期は、建設鋼材の売り上げが落ちた一方で、リース収入が前年同期より増加し、3カ年

## 丸紅建材リース 清水 教博社長

の中期経営計画で掲げた「賃貸重視の営業力強化」へ一歩を踏み出せた年となった。連結子会社も前年と比べて業績を伸びてきてている。ただ、下期は特に活況な首都圏と東北の2地区で、工事の進ちょく・着工遅れなどが散見され、出荷が先

延ばしになっている影響を懸念している。

理性を高める取り組みを推進してもらいた。

建設需要が好調な今の中期計画がスタートする。さらなる成長路線を築いていくためにも、経営陣の意志を現場に浸透させていくことが重要だ。さらに営業や工事などの各部署で、仕事の合

理化を高める取り組みを推進してもらいた。建設需要が好調な今の中期計画がスタートするが、一昨年あたりからうちに、設備投資を積極的に行っていく方針だ。横ばいで推移している。現在も価格は頻繁に上下

には、本来予定していた工期から時期をずらしての発注も増えるのではないか。そのため、20年以後も首都圏を中心に一定量の建設需要が期待でき

リース単価は、過去と比較すれば改善傾向にあるが、一昨年あたりから下降も首都圏を中心

に、本格的に動きだす。東京五輪に向けて関連事業が本格的に動きだす。東京を見極め、人的リソース

## 新中計でさらなる成長路線を

北の復興関連事業も一部遅れが出ており、しばらくは需要が続く。需要地